



幼稚園型認定こども園 和光幼稚園

平成30年7月9日(月)

主幹 三月田 智子

先日のバザーはお疲れさまでした。あいにくの雨となりましたが、その中で役員の方々を中心に保護者の皆様のお力と連携で開催できたのではないかと思います。本当にお疲れさまでした。

嬉し恥ずかし誕生会

月に1回行われる誕生会。子どもたちは自分の誕生会をとても楽しみにしています。

誕生会では、曲に合わせて一人一人自己紹介をします。



♪こんにちは～。どなたです～?♪

「僕は(私は)〇組の〇〇です。大きくなったら〇〇になりたいです。好きな食べ物は〇〇です！」



舞台の上で、マイクを手にしての自己紹介は、なかなか緊張するもの。それでも勇気を振り絞って発表しています。どうしても恥ずかしい時は、担任の先生と一緒に発表します。その姿もその子の今の姿、成長の過程として私たちは受け止めています。周りの友達も『がんばれ!!』と心の中で応援しながら聞いています。

子どもたちは、1年後、2年後…成長と共に、将来の夢も色々と変化して誕生会を迎えるたびに自己紹介も堂々として個々の成長を感じることができます。

子どもたちにとって楽しみで特別な自分の誕生会の日。子どもたちも職員も、保護者の皆様も心を込めてお祝いしましょうね!



「生きる力」

現在は、バリアフリーの環境が広く普及しています。これによって、いろいろな人が自立した生活が送れるようになりました。全ての人に優しい環境は「どの人も自立できる」「それによって、いろいろな経験を多くの人に保障できる」という点で素晴らしいことだと思います。しかし、「こうした環境に慣れることで、幼い時に段差がある場所を経験することが減っている。このことが、子どもにとって思いもよらないけがを生み出している」とい話もよく聞く話です。

また、近年幼稚園で見られるようになったのは、子どもがトイレの水を流さないまま出てきたり、手を洗う時に、蛇口に手をかざして水が自動で流れてくるのを待ったりしている姿です。

安全になったり便利になったりと、良いことのように思いますが、「危険察知能力」や「自己防衛スキル」、「生きる力」を育てていくという面では負の部分もあります。時には苦い経験や体験も必要かもしれません。もちろん、危険は除外する必要があります。しかし、「この時は気を付けよう」「これ以上はやってはいけない」という判断が身に付くのは、そうした自己の経験から学ぶことも多いと思います。

私たち大人は、子どもを見守りながらも挑戦させたり、時にあえて失敗をさせたりしながら、どうしてもできなかったのか、どうすれば危険を回避することができるのかなどたくましく「生きる力」を育てていくことができたらと思います。